

◆平成27年度学生募集 「入学選考」2月14日と  
「後期AO入学選考エントリー」2月20日(金)まで!!

企画広報室 高橋 達也

早いもので新年を迎えて1か月が過ぎ、立春を迎えました。まだまだ寒い日が続いていますが、皆さん、健康管理はしっかりできていますか?今年度のマトメを後悔することのないよう、様々なことに励んでください。この春卒業予定の皆さんは、もうすぐ学生生活の締めくくりです。今月は「学園祭」もありますので、学生生活最後の思い出を存分に作ってください。また、既に内定を頂いた皆さん、出身高校へ内定報告に行きましたか?皆さんの成長した姿をきくと喜んでくださると思います。是非、報告に訪れてみましょう。

さて、企画広報室では、入学希望者に対して本学について少しでも多くのことを知って頂けるよう、日々、広報活動をしています。皆さんの出身高校へ訪問したり、「オープンキャンパス」を開催したり、時にはメディアを使って本学のことを知って頂けるよう活動しています。しかし、本学の素晴らしさは、皆さんが一番感じていることと思います。本学で学んでいること、目指していること、何でも構いませんので、皆さんの後輩や本学を訪れている高校生に是非、声をかけてください。皆さんの中にも「先輩の声」に勇気付けられ、本学への入学希望するきっかけになった方が少なくないはず。一人でも多くの方が中村学園の良さを感じ、仲間が増えたら嬉しいですね。電子情報、福祉医療の希望者がいたら、是非「行ってみて!」と声をかけてください!!

■入学選考(特待生選考、一般選考、自己推薦選考、社会人選考)

2月14日(土)、3月18日(水)

■後期AO入学選考エントリーB日程:2月20日(金)まで

■オープンキャンパス 開催日程

○体験入学、学校・入学選考説明会、保護者対象説明会

2月14日(土)	13:00~15:00
19日(木)	17:00~18:30
3月 3日(火)	17:00~18:30
8日(日)	10:00~12:00
11日(水)	17:00~18:30

2月の行事

2月 2日(月) 1年電子情報 職場体験④ ~2/6(金)  
3CP 職場研修 ~2/13(金)

3日(火) 1CP 保育実習I(保育所) ~2/7(土)

4日(水) オープンキャンパス 17:00~18:30

2月4日(水) 以降  
授業、補講、卒業・後期試験  
卒研、ケアスタ

7日(土) ☆ 託児所:有

10日(火) 3CP 卒業研究発表会

11日(水) 建国記念日

12日(木) 常葉高校系統別講座 13:10~15:00

14日(土) 第4回入学選考

オープンキャンパス 13:00~15:00

16日(月) 登校日

追再試補講期間 ~2/26(木)

18日(水) 介護福祉士全国共通試験

19日(木) オープンキャンパス 17:00~18:30

J検 CBT

20日(金) 電子情報卒研学内発表会

21日(土) 第一ひかり幼稚園音楽発表会 ~2/22(日)

☆ 託児所:有

24日(火) ケアスタディ発表会(2CW・2TW)

25日(水) ケアスタディ発表会(2CW・2TW)

27日(金) 文化祭 ~3/1(日)

28日(土) 学園祭 ~3/1(日)

3月 2日(月) 文化祭・学園祭振休



◆春へ向けて アンテナを張り出す

進路室 橋野 幸男

2月4日は、「立春」。「節分」(季節が分かれる節目の日)の翌日であるこの日は、「寒さが明けて、春に入る日」、いわば「春の初日」です。

「春立つと 古き言葉の 韻(ひびき)よし」(後藤夜半)

この句に関して、高田正子さん(「日本経済新聞」土曜・夕刊の連載『耳を澄まして あの歌 この句』の筆者の一人)は、次のように述べています。「そもそも俳句には、少し“やせ我慢”などところがあります。暦が春だと言っているのだからと、無理でもなんでも、春へ向けてアンテナを張り出します。そうすると、昨日より今日、今日より明日が、明るく暖かくなっていくような気がしてくるのです」一。

さて、卒業年次学生には、「社会での自立」の出発点=「卒業式」まで、残り僅かとなりました。就職活動をしている学生にとっては、「ラスト・スパート」の時期です。「働くのだ」という覚悟を、もう一度、自ら確認してください。そして、学校経由やハローワークの求人、新聞など各種媒体の求人広告をキャッチし迅速に対応する、つまり、「走りながら考え、考えながら走る」というスタイルをこれまで以上に徹底してください。

なかには、複数のいわゆる「お祈りメール」(企業からの「不採用通知」の俗称。「今後のご活躍をお祈り申し上げます」という一文が添えられていることから名付けられた。)で、一時、意気阻喪の状態だった者もいることと思います。学生にとって就職活動は、「社会から一方的に評価される。人生で初めて、徹底的に選ばれる立場に立たされ続ける」という経験です。「お祈りメール」が続けば、しんどさを感じるのも無理はありません。しかし、考えてみてください。評価されること・拒絶されることを怖れてエントリーしなければ傷付くことはないし、相手の土俵に上がらなければ土俵から落ちることもありませんが、それでは何も始まりません。そして、やり続けられない限り、結果は出ないのです。さあ、いま一度、覚悟を固めて、挑戦していきましょう。

そうした皆さんに、女優・壇蜜さんの言葉を紹介します。NHK・Eテレ「U29.人生デザイン」では、昨年12月1日に『特別編:仕事さがしスペシャル』を放映しました。ゲストの一人として



登場した壇蜜さんは、「就職氷河期に就活を経験。20代の頃は、和菓子工場、OL、大学院など様々な仕事を転々」とのこと。そうした彼女の発言です。「あと、“好き”や“向いている”の前に、思いっきり、いやな目に遭っておいいたほうがいいです。“ハズレくじ”、いっぱい引いておいたほうが、いいと思います。そうしたほうが、ちよつとの“好き”や、

ちょっとした「向いている」が、とてつもない「当たりくじ」に見えて、すごく励みになる気がします」と。壇蜜さんのあのしなやかな強さは、こうした経験もあってのものではないでしょうか(なお、彼女は、大学で英語科の「教員免許」を、専門学校で「調理師免許」、「遗体衛生保全士資格」を取得しています。また、日本舞踊・坂東流「師範」でもあります)。

早い時期に、多くの「(致命的ではない) ダメ出し」を受けた経験を持つ人(もちろん、「お祈りメール」は、“致命的”なものではありません)。すぐには結果に結び付かなくても、途中で投げ出さず、最後までやり続けるという覚悟を持って、実行した人。そうした、いわゆる「徒勞に賭ける」ことができる精神的・肉体的な強さを涵養してきた者こそ、「地力があり、成長ベクトルを持った人材」となります。

再び立ち上がり、チャレンジしている皆さん。「春に向けて、アンテナを張り出す」気概でいきましょう。必ず、それぞれの「春」を引き寄せることができる、と信じています。

## ◆冬季スポーツ大会を終えて

学生会会長 介護福祉学科 2年 大塚 奈菜

昨秋、雨天延期となったスポーツ大会を、年明けで寒い時期に開催することになりました。今回も、男女サッカーでした。しかし、どのクラスも、クラスメイトや他クラスの学生と楽しそうにしている姿が多くみられました。また、どの試合も、白熱したものばかりでした。

運営にあたって前回の反省点を活かして行いましたが、上手いかない部分もありました。しかし、学生会やスポーツ大会実行委員が協力してくれたおかげで、各クラスにも連絡がいき、スムーズに大会を進めることができました。すべての学生や理事長・校長先生、諸先生方にとっても感謝しています。スポーツ大会を通して各クラスの団結力が深まったのではないかと感じました。

今月の終わりには「文化祭・学園祭」も控えています。この団結力を活かして、成功させたいと思います。



## ◆学園祭・文化祭に向けて

学生会副会長 総合福祉学科 2年 下田 乙矢

今年度のテーマは、「『仲間』～ priceless ～」です。

サブタイトルの「priceless」には、「非常に貴重な」、そして「とても楽しい」という意味があります。地域の皆さんに、日頃の感謝を込めて、意義ある、そして楽しんでいただける時間を提供したいと考えています。

学生会は、そうした3日間になるように真剣に取り組んでいきますので、学生の皆さん、先生方、ご協力をお願いします。



## ◆新任教職員の紹介

企画広報室 小林 昌人

昨年12月より本学に勤務させていただいております、小林昌人と申します。これまで予備校で15年間、小学生から浪人生までに進路・学習指導を行ってまいりました。企画広報担当ということで、今までとは違う仕事になりますが、同じ教育分野での経験を活かし、中村学園の良さを外部へ発信すべく、日々、皆さんとも関わらせていただきたいと思います。

まだ短い時間しか経験をしていませんが、この学校の目指すもの、校風、そして今までの実績についても非常に素晴らしいものだと思います。この良さを外部へ発信し、ますますの学園の発展に繋がりたいと考えております。これから校長先生をはじめ教職員の皆様、学生の皆さんにも色々な機会でお話させていただくと思いますので、よろしくお願ひ致します。

企画広報室 薄井 桃子

12月1日より入職致しました薄井桃子と申します。

前職では金融業界で営業と採用・教育研修業務に携わっていました。退職後は子育てに専念していましたので、仕事に復帰するのは1年9か月ぶりです。

私は学生の頃、テニスサークルに所属し、夏は試合に向けて真っ黒に日焼けして練習していました。テニスは小学生から習い、中高と部活にも所属しましたが腕はいまいちです(トホホ...)。また、おしゃれが大好きで、バイトをしては化粧品や洋服を買っていました。もちろん今でも大好きです!

10年近くも前の話もありましたが、身近に感じていただければと思います。皆さんに近い目線で考え、貴重な学生生活をサポートできるよう、また、広報として学校を盛り上げていきたいと思ひます。皆さんも、サポートよろしくお願ひします。校長先生をはじめ、~どうぞよろしくお願ひ致します。



## ◆「第6期相談援助実習」を終えて

総合福祉学科 3年 鈴木 明日香

第6期実習で、「3年間の学生生活最後の実習」をやり終えました。今回の相談援助実習では、特別養護老人ホームで実習を行わせていただきました。



そこでは、相談員に同行させていただき、多くのことを学びました。会議等や施設の行事にも同席、参加させていただきました。また、利用者様や、その家族、施設の職員、各機関の職員や地域住民など多くの方と関わらせていただき、人と人とのかかわりやつながりの大切さを学びました。

これらのことは、福祉サービスを行っていくなかでも、私たちの普段の日常生活の中でも大切なことだと思います。人との関わりや繋がりがあり、人と人が支えあっていくことで、福祉サービスを利用している方も、私たちも、生活することができるのではないかと思います。

今回の実習で学んだことを就職先や普段の生活の中で大切に、それを活かし、多くの方の支えとなることができるよう、これからも学んでいます。

学校生活最後の実習を終え、多くのことを学ぶことができたのも、ご指導してくださった先生方、実習先の職員方、互いに励ましあったクラスメイトのおかげです。本当にありがとうございました。

総合福祉学科 3年 堀井 美希

昨年の12月、3年総合福祉学科は約15日間の「第6期相談援助実習」を実施。3年生にとっては、この実習が卒業年度最後の実習となります。私は初めて障害児施設で実習をさせていただき、保育や療育の現場を学ぶとともに、その現場から「どのようにしてソーシャルワークの視点を見出すか」ということを学ばせていただきました。

私が今回の実習で障害児施設を希望したのも、社会人として高齢者施設に就職する前に、これまであまり触れてこなかった障害児分野に挑戦することで、自分自身の福祉に対する考え方や視野を広げていきたいと思ったからです。実際は、自分もっていたイメージと違ったり、保育や療育の場面に戸惑ったりすることもありました。しかし、その中でも、子どもたちの日々の成長を自分の肌で感じる事ができ、充実した実習をすることができたと思っています。また、親子教室にも参加させていただき、子育てに悩む母親の想いや、自宅での生活の様子を知ることができました。

今後は、この3年間の学生生活における全ての実習を糧として、初心を忘れず頑張っていきたいと思ひます。最後になりましたが、指導者様をはじめご指導してくださった先生方、本当にありがとうございました。